

平成 29 年 1 月 25 日
練馬区地域医療課

介護老人保健施設の調査研究（中間報告）について

1 概要

在宅療養を推進するため、介護老人保健施設（以下、老健という）の特性を活かした利用促進方法を検討することを目的として、ワーキンググループ（以下、WGという）を設置し、全3回の検討を重ねた。今年度の事業成果および来年度以降の課題に対する対応案について、以下のとおり中間報告する。

2 今年度の検討経過

検討回	参加者	実施概要
事前調査 (4月)	病院スタッフ・在宅医・ケアマネジャー等 9名	・施設利用の課題や老健に期待する機能について、グループインタビューを実施。
第一回 WG (6月)	区内老健を運営する 12 法人 (施設長・事務長・リハビリ部長等)	・事前調査および問題意識の共有、課題の抽出を実施。 ①老健の認知度不足 ②他職種との交流の少なさ
第二回 WG (7月)	同上	・情報発信のコンテンツ作成等、具体的な対応について検討。
第三回 WG (9月)	同上	・前回に引き続き、課題に対しての対応案を検討。

3 今年度抽出された課題および対応策

抽出された課題	対応案
・区民および事業者における、老健全般および各施設の特徴・差異に関する認知度の向上	・「区民・他職種が知りたい情報」を老健の視点を踏まえて整理した、簡潔な啓発資料の作成
・地域の周辺多職種との“お互いの顔の見える関係性”の強化	・老健を利用する多職種と老健スタッフによる意見交換の実施 ・既存の事業や会合などを活用した交流の場づくり

4 具体的な施策の方向性（案）

（１）啓発資料の作成について

	区民向け	事業者向け
対象	・老健を利用したいと考えている区民	・病院MSW・ケアマネジャー等
記載項目	・特養との違い ・かかる費用、入所期間 ・老健を使うに当たっての特徴的なモデル ・利用までのフローチャート ・区内老健一覧	・他施設（特養・療養病床等）との違い ・かかる費用 ・区内老健一覧 ・各施設の詳細な紹介
完成時期	・平成 29 年度前半	・平成 29 年度後半
周知	・紙媒体での配付	・Webでの公開

（２）顔の見える場づくりについて

“顔の見える場づくり”に関しては、老健を利用する多職種と老健職員による意見交換会の開催や、既存の事業や会合などを活用した交流の場づくりなどについて、平成 29 年度から実施計画を検討する。

5 スケジュール案

年月	協議会・専門部会	施策の検討・実施
H29 年 1～3 月		・区民向け・事業者向け啓発資料の作成
H29 年 4～5 月	・在宅療養専門部会	・顔の見える場づくりの検討
H29 年 6～9 月	・在宅療養専門部会	・老健WGの開催 ・他職種との意見交換の実施 ・事業者向け啓発資料の作成
H29 年 10 月	・在宅療養推進協議会	
H29 年 11～12 月		・区民向け啓発資料の印刷 ・事業者向け啓発資料の作成
H30 年 1 月	・在宅療養専門部会	・介護老人保健施設調査報告書の提出

6 参考

- ・介護老人保健施設の調査研究 報告書（たたき台）
- ・練馬区老健ガイド・練馬区老健活用ガイド